

平成26年度大阪市立図書館の目標について [振り返り]

基本目標：

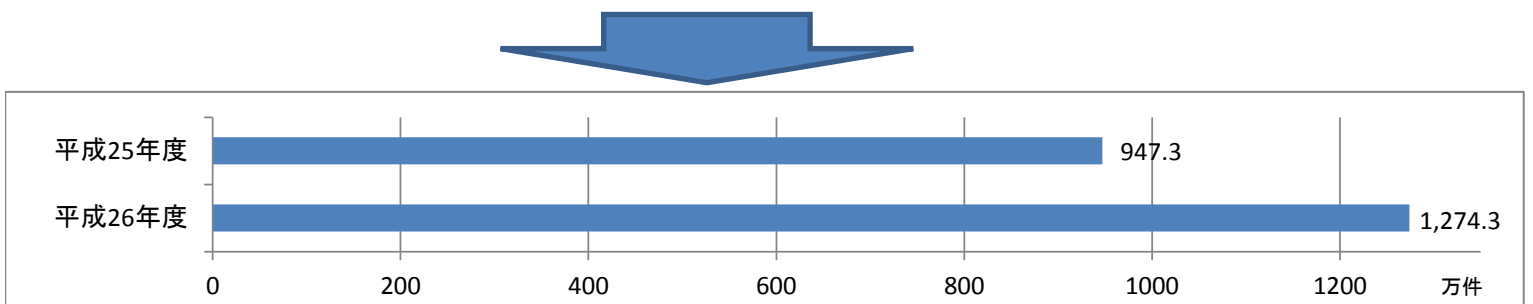
「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤とし、さらなる発展と再構築をめざす。

図書館が、地域の情報活用基盤として調査相談機能の高度化や、電子図書館機能の周知などにより市民の利用を促進し、誰もがいつでも情報や知識を活用して創造性・生産性を高めることができるように支援する。また、地域の多種多様な課題解決に向けた情報収集・学習拠点として、学校をはじめとして、区役所等地域施設、団体など多様なセクターを支援する。

【重点目標】

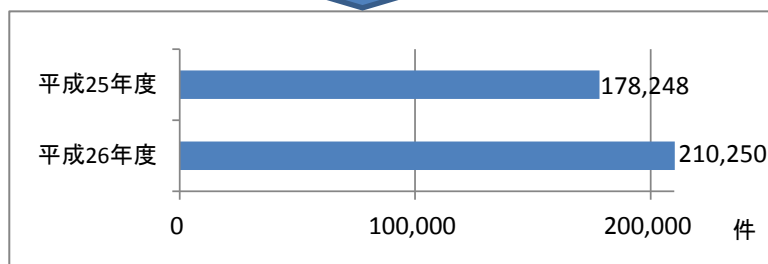
成果目標

図書館への来館者数と図書館ホームページ(トップページ)アクセス件数の合計数を前年度より増加させる

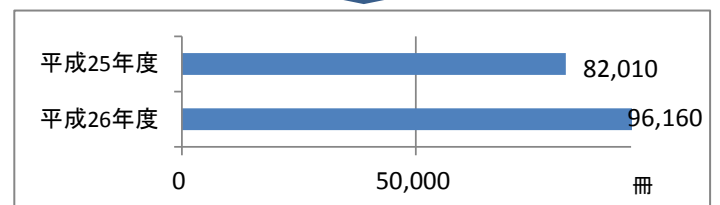


業績目標

市立図書館における商用データベースや電子書籍等の電子図書館機能について、広報や活用講座等の開催を通じて認知度をアップさせ、総アクセス件数20万件をめざす



小・中学校における調べ学習や一斉読書等のために、市立図書館から学校への貸出冊数を前年度より増加させる



図書館や幼稚園・保育所、高齢者福祉施設で活動する読書支援活動ボランティアを対象に、ステップアップ講座を継続して実施するとともに、読書支援活動ボランティアの情報交換や連携が進むよう、すべての区で交流会や情報交換会を実施する。

- ・ステップアップ講座 6回実施
- ・ボランティア活動支援のための交流会を全区で実施

1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
レファレンス(調査相談)・情報サービス・情報発信機能の拡充 課題解決支援(情報検索支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベースの利用促進 ・電子書籍の利用促進 ・ビジネス講座の充実 ・OMLIS(館内利用者用検索機)使い方講座の開催 ・OPACにおける予約機能の操作性向上 ・メールレファレンスの利用促進 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業へのレファレンス事例公開 ・横断検索における大学図書館等蔵書検索対象館の拡大 ・ホームページ「おおさか資料室」の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベースアクセス件数前年度比増 ・電子書籍アクセス件数前年度比増 ・ビジネス講座開催件数維持 ・使い方講座の継続開催 ・OPACからの予約件数増 ・メールレファレンス受信件数前年度比増 ・レファレンス公開件数の増 ・横断検索のアクセス数の増 ・「おおさか資料室」アクセス数の増 	<ul style="list-style-type: none"> ・商用データベースアクセス件数138,382件(前年度比11.8%増) ・電子書籍アクセス件数22,782件(前年度比3.0%増) ・ビジネス講座開催件数9件 ・使い方講座の開催回数4回 ・OPAC予約件数2,329,444件(前年度比9.8%増) ・メールレファレンス受信件数188件(前年度比20.5%増) ・レファレンス公開件数969件(前年度比0.8%増) ・横断検索への大阪府立図書館、大阪市立大学、OMLINサーチへの朝日新聞、毎日新聞、Japanknowledgeの追加 OMLINサーチアクセス件数477,791件 ・「おおさか資料室」アクセス数8,201件(前年度比58.0%増) 	○
電子図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「デジタルアーカイブ」の利用促進 ・音楽配信サービス(ナクソス・ミュージック・ライブラリ)などの利用促進 ・インターネットOPACでの表紙画像表示機能提供 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアーカイブのアクセス件数前年度比増 ・音楽配信サービスアクセス件数前年度比増 ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数前年度比増 ・開始 ・開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアーカイブアクセス件数21,708件(前年度比0.8%増) ・音楽配信サービスアクセス件数23,952件(平成26年1月開始/前年度月平均と比較:1.4%増) ・国立国会図書館歴史的音源提供サービスのアクセス件数2,244件(前年度比54.1%減) ・機能を実装するも、サーバ負荷の影響により館内OPACでのみ提供。 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス26年11月より全館で提供開始。アクセス件数1,038件 	○

<p>図書館資料の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書や基本図書など市民の課題解決に役立つ資料を継続して収集 ・地域資料を収集・整理して提供・保存 ・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実 ・資料のデジタル化を継続して行い公開 ・図書目録情報の計画的データ整備(データの豊富化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書の冊数増 ・地域資料の冊数増 ・学校支援用図書の蔵書増 ・デジタル資料の公開点数の増 ・新規 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書を新たに2,395冊受入し、市民の課題解決に役立つ資料収集を継続 ・地域資料の収集・整理し、7,565冊を新たに提供 調べ学習支援等の児童図書を継続整備(559セット 前年度比11%増) ・26年12月、「忠臣蔵」の原型といわれる、江戸中期の浮世草子作者「都の錦」の日本で2冊しかない自筆本『播磨相原(はりますぎはら)』の画像を公開。27年3月、「なにわの海の時空館」旧蔵資料「菱垣新綿番船川口出帆之図」など、265件を公開。OPACとデジタルアーカイブとの連携に対応。 ・市販雑誌マークの導入により雑誌目次情報掲載。 ・マークタイプ変換週及による目録情報の豊富化順次実施 	◎
<p>多文化サービスの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働しての外国とつながりのある子どもたちが参加できる企画事業の実施 ・日本語に習熟していない人のためのやさしい日本語のOPACの広報・周知 ・外国語資料の充実 ・関西アメリカンセンター、ハンブルク市図書館との連携による資料充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の絵本展開催 ・やさしいにほんごモードOPACのアクセス件数増 ・外国語資料の蔵書増 ・アメリカンシェルフの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人と協働して外国語の絵本展を開催(11/29・30、参加者数1,415人) ・いろんなことばのおはなし会などを開催(6回154人参加) ・やさしいにほんごモードアクセス件数10,575件、OPAC検索件数1,551件 ・外国語資料を2,322冊受入れ(購入1,798冊、寄贈524冊) ・H26.4月 中央図書館外国語コーナーにアメリカンシェルフを設置し、神戸米国領事館関西アメリカンセンターより寄贈されたアメリカの教科書やチラシ・パンフレットを提供 ・ハンブルク市図書館との資料交換(ドイツ語図書93冊受理、日本語図書70冊送付)実施 	○
<p>市民への広報の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体の効果的活用 ・メールマガジンの内容豊富化と利用促進登録者数増加 ・SNSを使った情報発信の拡大 ・「新着お知らせメール」など情報提供の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数の増 ・メールマガジン登録者数増(H26.1月開始) ・ツイッターの発信回数増 ・「新着お知らせメール」「自動車文庫巡回日お知らせメール」の利用促進(H26.1月開始) 	<p>来館者数は前年度比0.4%減(610万3千人)となったが、HP(トップページ)アクセス件数は、検索窓の効果により前年度比83.6%増(6,639,557件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジン配信登録数381件 ・メールマガジントップページアクセス件数5,945件 ・中央図書館の催し 約150件、地域図書館の催し 約170件等 計797件発信(前年度比12.7%増) ・新着お知らせメール配信登録数: 3,911件(前年度比95.0%増) ・自動車文庫巡回日お知らせメール登録件数: 約2,000件(H26年度末) 	◎

2. 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、学校、地域、市民との連携事業の企画調整等

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」の周知 ・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動推進にかかるチラシ配布 ・「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の定例開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発リーフレット「本を読むって楽しいね！」の配布 ・平成26年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会を7月7日に開催 	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化支援 ・学校支援総合ポータルサイトの拡充(図書館活用の手引き更新、電子書籍紹介等) ・学校園における一部商用データベースの活用支援 ・夏休み期間における子どもに対するとしょかんポイント活用による読書推進の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出冊数の前年度比増 ・学校図書館活性化事業 各種ボランティア講座の開催 ・開始 ・開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出冊数96,160冊(前年度比13.2%増) ・図書館活用の手引きを更新(H26.5月) ・学校支援ポータルサイトアクセス件数6,922件(前年度比92.0%増) ・H26.7月～校務支援システムでJapanknowledgeの提供開始 ・「ためよう! としょかんポイント」実施1,700人参加 	◎
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・学校図書館支援等読書普及にかかる中学校等との連携強化 ・ホームページ「ティーンズのページ」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング層向きの催しや企画展等の実施 ・中学生、高校生の図書館見学、職場体験学習の受入等、連携事業回数増 ・中学校、高校への職員、ボランティア派遣回数増 ・「ティーンズのページ」のアクセス数増 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回「書評漫オグランプリ」(26年11月)出場31組、来場者数200人(前年度出場13組、来場者250人) ・図書館見学、職場インタビューなどの受入 10校(前年度6校) ・職場体験学習の受入 89校272人(前年度83校256人) ・学校図書館整備支援等への職員派遣回数 7校10回(前年度2校3回) ・おはなし会等への職員・ボランティアの派遣回数 10校138回(前年度8校29回) ・「ティーンズのページ」のアクセス数10,599件(前年度比62.7%増) 	◎
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の開催 ・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティア協働ポータルの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録ボランティア2400～2500人継続維持 ・ステップアップ講座を2講座以上実施 ・全区でのボランティア交流会および情報交換会の実施 ・開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動支援ボランティア2,410人登録 ・幼児期図書ボランティア入門講座53回(前年度50回)、ブックスタート入門講座 2回(前年度2回)を実施 ・保育所、幼稚園等で活動する読書活動支援ボランティアを対象としたステップアップ講座を3回実施、179名が受講 ・全区でボランティア交流会および情報交換会を開催 ・H26.6月ボランティアのページ開設実施 同アクセス件数: 6,479件 	○

<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期読書環境整備事業の一層の周知と継続実施 ・各区における絵本展開催支援 ・OneBookOneOSAKA事業の継続・拡充 ・ホームページ「子どもにすすめる本」のページの充実 ・ホームページ上に「子どものページ」開設準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数の前年度比増 ・ボランティア派遣回数維持 ・絵本展開催に向けた支援回数の増 ・OneBookOneOSAKA関連イベントの実施 ・「子どもにすすめる本のページ」のアクセス件数前年度比増 ・27年度開設に向け、「子どものページ」作成準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設など381施設に年約4か月間貸出。計42,710冊(前年度比0.1%減) ・市内幼稚園・保育所・子育て支援施設など257施設にボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせ・パネルシアターなどのおはなし会実施。ボランティア派遣回数786回(前年度比8.1%増) ・絵本セットや面展台などを貸出、絵本展開催を支援。支援件数67件(前年度56件) ・OneBookOneOSAKAページアクセス件数5,253件 ・関連イベントの実施 絵本展や世代間交流事業など各図書館で実施 ・アクセス件数:8,495件(前年度比23.0%増) ・「子どものページ」27年秋開設予定 	○
--	---	---	---

3. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進

取組項目	具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者数増 ・派遣回数維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした研修 11回実施(前年度10回) ・担当者別研修 24回実施(前年度26回) ・府立図書館、文部科学省、国立国会図書館等主催の外部研修に司書を派遣 延べ86回(前年度 延べ69回) 	○
自主財源の確保及び経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・バナー広告による収入(前年比32.8%減) 	△
図書館事業に関わる成果(アウトカム)の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケートの実施 ・分析結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館利用者アンケートの実施(3月21日～26日) ・講習会・講座受講者アンケートの実施 ・分析結果の公表 	○
利用環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書点検期間の短縮等による開館日の増加 ・より快適に図書館を利用いただけるよう、施設整備や案内表示の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館4日増、地域図書館2日増 ・中央図書館トイレ改修 ・Wi-Fi環境の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館4日増、地域図書館2日増 ・中央図書館トイレ改修 ・H26.4月 Wi-Fiスポットの拡大 ・H27.3月～ 新たに公衆無線LANゲスト方式によるWi-Fiインターネット接続サービスを5館で提供開始(中央、西淀川、浪速、此花、西成) 	○

(評価:◎→目標以上 ○→目標どおり △→目標以下 ×→成果なし)